

下大静脈フィルター留置・回収を

受けられた患者さんの診療情報を用いた臨床研究に対するご協力をお願い

当院では、上記の疾患で治療を受けた患者さんの診療録を用いた臨床研究（下大静脈フィルターに関するアンケート調査（一般社団法人 Japan Endovascular Treatment Conference, JET、による全国アンケート調査））を、当院倫理委員会の承認、管理者の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しています。この研究の実施による、患者さんへの新たな負担は一切ありません。

1 対象となる方

2017年1月1日から2019年12月31日までに、当院で下大静脈フィルター留置・回収術を受けた患者さん

2 研究実施機関

京都第一赤十字病院 循環器内科 （他全国 139 施設）

3 本研究の目的、方法

足の静脈に血栓（深部静脈血栓）が形成され、その血栓が下大静脈を経由して移動し、肺と心臓をつなぐ肺動脈に詰まる（肺塞栓症）と致命的な状況にも陥ります。重症の肺塞栓症・深部静脈血栓症の際に、さらなる肺塞栓症の増悪を防ぐために下大静脈フィルターを挿入します。現在、回収可能型フィルターが使用可能になり、患者さんの状況に合わせて永久留置・回収を実施しております。下大静脈フィルターを回収を試みた際にどれだけ実施可能か、実際の回収率などをしっかりと評価し、今後の診療に生かすことはとても重要です。そこで、当院を含む全国の医療機関に対して学会 JET が、下大静脈フィルター留置・回収術の状態をアンケート調査することにより把握する研究を行うことになりました。

当研究は大田記念病院を研究主機関とし、全国複数の医療機関で実施されます。当研究データは個人情報保護法を遵守し、匿名化など適切な方法をおこなった上で、国内および国外の他医療機関との共同研究にも使用され、その際には郵送あるいは電子的配信により情報共有を行います。また、当院循環器内科で実施される他の研究の結果と本研究データとを結合し、解析を行うことも想定されております。

4 協力をお願いする内容

診療録の情報を閲覧し、必要項目を抽出して調査・解析します。新たなご協力・ご負担はありません。

5 本研究の実施期間

研究実施許可後 ～ 2021年2月28日

6 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う個人情報（年齢、性別、診察所見、検査データ、治療経過などの診療情報のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 取り扱う診療情報は、個人情報をすべて削除し、第3者にはどなたのものかわからない形で使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と、匿名化した診療情報を結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。連結情報は当院内で管理し、他の共同研究機関等には一切公開しません。

7 お問い合わせ

本研究に関してのご質問や、情報提供の停止を希望される場合は、下記へのご連絡をお願い致します。

京都第一赤十字病院 循環器内科 医長 木村 雅喜
TEL: 075-561-1121 (対応時間帯：平日午前9時～午後4時まで)